



エコマークアワード 2012  
ECO MARK AWARD 2012

エコマークアワードは、財団法人日本環境協会が2010年度に創設した表彰制度です。

エコマーク商品をはじめとする環境配慮商品(以下、エコマーク商品等)の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品等のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

2013年2月6日

財団法人日本環境協会

JAPAN ENVIRONMENT ASSOCIATION

## 「エコマークアワード 2012」選考委員長 講評

第3回目となった今回は多数の企業・団体から応募を頂き、書類審査、プレゼンテーション審査を経て金賞1件、銀賞2件、銅賞3件が選ばれました。受賞された企業はどれも環境配慮商品の開発に注力するばかりではなく、消費者との環境コミュニケーションを深めるためのツールとしてエコマークを活用されていることが高く評価されました。プロダクト・オブ・ザ・イヤー賞は、最近2年間に認定された商品の中でエコマークの価値を高めることに貢献した賞品が選ばれました。受賞をきっかけとして、消費者との協調をいっそう深め、共に持続可能な社会の構築に取り組んで頂きたいと思います。



東京大学大学院 工学系研究科  
教授 平尾雅彦氏

## 「エコマークアワード 2012」選考委員のご紹介

伊坪 徳宏 (東京都市大学 環境情報学部 准教授)

大熊 一寛 (環境省 総合環境政策局 環境経済課長)

奈良 松範 (諏訪東京理科大学 システム工学部 教授)

西尾チヅル (筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授)

平尾 雅彦 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)

山口 庸子 (共立女子短期大学 生活科学科 教授)

山崎 和雄 (日刊工業新聞社 論説委員)

以上 50 音順

## 表彰部門

### ■金賞、銀賞、銅賞

概要	「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰
対象	A. エコマーク認定商品保有企業（エコマーク使用契約者） B. エコマーク商品等の普及に貢献している企業、団体
選考方法	応募のあった団体の中から、「エコマークアワード選考委員会」にて選考
評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>● エコマーク商品等の認知度向上への取り組み</li><li>● エコマーク商品等の市場普及推進への取り組み</li><li>● エコマーク商品等の普及への取り組みの独自性</li><li>● エコマーク商品等の普及への取り組みの継続性</li><li>● エコマーク商品等による環境負荷低減効果</li></ul>

### ■プロダクト・オブ・ザ・イヤー

概要	特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた商品を表彰
対象	2011年度、2012年度に認定されたエコマーク認定商品
選考方法	上記エコマーク認定商品から、「エコマークアワード選考委員会」にて選考
評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>● エコマークの4つの重点領域「省資源と資源循環」「地球温暖化の防止」「有害物質の制限とコントロール」「生物多様性の保全」のいずれか1つ以上に大きく寄与するもの</li><li>● その製品を使用することにより消費者の環境意識の向上、又は環境教育へのつながりが期待されるもの</li><li>● 消費者の購買行動を環境に配慮したものと誘導することが期待されるもの</li></ul>



# 「エコマークアワード 2012」

## 受賞団体・評価コメント

### 金 賞

#### 株式会社タカトミー

おもちゃ初のエコマーク認定！

未来を担う子どもたちへ、おもちゃを通じたエコマーク普及の取り組み

同社の看板商品である鉄道玩具「プラレール」において、試行錯誤を重ねた開発努力の結果、おもちゃの分野では難しかったエコマークの基準（再生プラスチックの使用など）をクリアし、おもちゃで初めてのエコマーク認定を取得した。商品開発においては発売から53年間で一度も変更したことがないレール色を「エコを連想させる色」に変更したり、エコマークや再生プラスチックの使用をパッケージに表示したりするなど商品の受容性を高める工夫を凝らし、販売促進にも大きく成功している点が高く評価できる。

また、「プラレール」の購入や使用を通じて親子が環境について考えるきっかけを与えるとともに、リサイクルの過程を学べるイベントプログラム等を実施するなど、“楽しい”工夫を凝らしたコミュニケーション活動を積極的に展開している。子供たちのエコへの興味や理解を深めるうえで、大いに教育効果が期待できる点も高く評価された。

(2012年エコマーク認定取得)

### 銀 賞

#### アスケー石鹸株式会社

廃食用油リサイクル石けんシステムの構築と

エコマーク認定商品のリサイクル石けんの普及

2002年から廃食用油の回収・リサイクルシステムの構築に取り組み、精製加工する油脂メーカーとの共同研究で原料となる高純度の脂肪酸を抽出、その原料を用いて一般の石けんと比べても遜色のない高品質のリサイクル石けんを製造している。その石けんは全国の小中学校約2,000校や100社以上の企業に納入され、着実にリサイクルの輪を広げている。とりわけ、小学校ではNPOとの協働による環境授業にも力を入れている（2011年度：7校428名）。

また、ウェブサイトやメディアでエコマークを上手に活用し、商品の販売促進にも大きく成功している。こうした取り組みによる環境教育効果や社会的波及効果が高く評価された。

(2011年エコマーク認定取得)

#### タイムズ24株式会社

「気づけばエコ」環境に優しい新たな交通手段

全国のタイムズ駐車場で展開するカーシェアリング「タイムズプラス」において、エコマーク認定を取得した。カーシェアリングは、「借りる」という新しい車の利用方法を提案し、消費者行動に影響を与えることができる優れた取り組みであり、同社の高い市場シェアはこの普及に大きく貢献するものである。

また、さらなる普及推進に向け、同社の強みである駐車場を活用した積極的なPR活動や、消費者の認知を高めることを目指した車両配備計画などを展開しており、今後、市場に与えるであろうインパクトの大きさにも非常に期待できる。

同社駐車場へのLED照明やEV充電設備の導入や、地方自治体等と連携したEV車両の導入など本業における先進的な環境配慮を行っている点も優れている。

(2012年エコマーク認定取得)

### 銅 賞

#### コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社

ライフサイクル全体での環境負荷低減活動

カラー複合機 コニカミノルタ bizhub C シリーズ

(bizhub C754, C654, C554 など)

環境のトップランナーを目指し、2050年に向けた長期ビジョンを掲げ全社を挙げて活動しており、意欲的な目標にチャレンジする姿勢が高く評価できる。プロダクト認定制度やマーケティング活動など独自の取り組みにより、着実に前進を続けている。

主力製品である複合機の製品開発における取り組みも素晴らしく、全製品がエコマーク認定を取得することを前提としたうえで、さらなる省エネ性能の向上、資源の有効活用、物流等の効率化など、あらゆる切り口から環境負荷低減を目指している。

(2000年エコマーク認定取得)

## 銅 賞

### 住江織物株式会社

水平リサイクルタイルカーペット ECOS タイルカーペットシリーズの開発と普及

使用済みタイルカーペットから新品タイルカーペットへの水平リサイクルを積極的に進め、これらの原料を使用したタイルカーペットを現在、220 アイテムまでに拡げている。「顧客のエコ意識に関らず、手にとった製品がエコプロダクトとなる」という製品開発の思想は高く評価できる。また、再生材料の配合割合を業界最高水準の7割まで高めるなど環境性能を大きく引き上げており、資源循環の観点で非常に優れた製品である。

(2006年エコマーク認定取得)

### 田中建材株式会社

木質加熱アスファルト舗装 (ハーモニーロードウッド)

建設廃材等の木材をチップ化し、アスファルトと混合した舗装材 (エコマーク商品) は、限られた資源の有効活用に役立つだけでなく、軽量であること、ヒートアイランド対策にも役立つこと、適度な弾力性と衝撃吸収性によるバリアフリー設計であることなどが、エコフレンドリーデザインに優れた製品であると評価された。

エコマークを取得した2004年から長年にわたり、エコマークを活用して行政等への採用の働きかけを行うなど、営業活動を通じて着実にエコマーク商品を普及推進してきている点も高く評価できる。

(2004年エコマーク認定取得)

## プロダクト・オブ・ザ・イヤー

### パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

HDD 搭載ハイビジョンブルーレイディスクレコーダー (ブルーレイディーガ) DMR-BRT230



DMR-BRT230  
[認定番号: 12 149 007]

[認定番号: 12 149 007] 他\*

\*DMR-BZT830 [認定番号: 12 149 001], DMR-BZT730 [認定番号: 12 149 002], DMR-BWT630 [認定番号: 12 149 003], DMR-BWT530 [認定番号: 12 149 004], DMR-BR130 [認定番号: 12 149 008]

消費者の省エネ意識が高まるなか、デジタル家電における省エネ性能向上の取り組みが進められている。今回、プロダクト・オブ・ザ・イヤーを受賞したブルーレイディスクレコーダー DMR-BRT230 は、国内で発売されている同等クラスの製品の中で、動作時や待機時の消費電力が飛躍的に小さく、JEITA 基準による年間消費電力量も最小クラスである。同シリーズにラインアップされた多くのレコーダーも、同様に優れた省エネ性能を実現している。

高い省エネ性能を実現するための電子回路・部品の開発、省資源 (軽量化) や使用済み製品のリサイクル性を高めるための部品効率化等の先進技術は素晴らしく、独創性に溢れており、これら技術の他商品への展開にも大いに期待がもてる。製品ライフサイクルにわたり総合的な環境性能の強化がなされた商品である。

また、家電量販店の売場などで、エコマーク認定商品であることを知らせる POP を設置するなど、エコマークを販売促進において積極的にアピールしている点も高く評価された。

(2012年エコマーク認定取得)



エコマークアワード賞状



エコマークアワード  
受賞ロゴ

#### 「エコマークアワード」トロフィデザインについて

蛍光管の再生ガラスで作られたリングによって「人々の叡智による循環」というテーマを表現。

受賞された企業や団体、そして全ての関係者が、より積極的な活動を続けるためのシンボルになることを願ってデザインされています。



エコマークアワードトロフィ



エコマークアワード 2012 ウェブサイト:  
[www.ecomark.jp/award/award\\_2012.html](http://www.ecomark.jp/award/award_2012.html)

財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階  
Tel: 03-5643-6255 Email: [award@ecomark.jp](mailto:award@ecomark.jp)